



<http://www.kinki-sha.org/>

# 近畿学校保健学会通信

No.144

平成28年6月2日発行  
近畿学校保健学会事務局  
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1  
関西福祉科学大学 大川研究室  
TEL&FAX : 072-947-1307  
Mail : kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp  
振込口座 00940-5-181826

## 目 次

第63回近畿学校保健学会のご案内	..... 2
平成28年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題	.....10
第3回幹事会議事録	.....10
第3回選挙管理委員会議事録	.....11
トピックス：学校現場におけるてんかん発作時の対応について	.....12
編集後記	.....12

### 会費納入と会員勧誘についてのお願い

平成28年度の会費の納入時期となりました。

平成28年度会費未納の方には、振込用紙を同封させていただきましたので、年会費（3,000円）をお振り込み下さいますようお願い申し上げます。2～3年分の会費未納の方にはその額を記載しています。

また、会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。入会案内パンフレットおよび入会申し込み用紙は、ホームページからダウンロード出来ます。

## ご 挨拶

第 63 回近畿学校保健学会  
学会長 高野 知行  
(滋賀医科大学小児科学講座)

この度、第 63 回近畿学校保健学会を滋賀医科大学において開催させていただくにあたり、皆様に歓迎と感謝のご挨拶を申し上げます。

当教室は開学当初から小児神経疾患を教室の主要な研究テーマとして掲げ、多くの基礎的な研究成果とともに、臨床面ではてんかんや発達障害を有する小児について診療と研究を継続してきました。今回、近畿学校保健学会を開催させていただくにあたり、これまでの当教室の特徴を活かし、学校現場における発達障害を有する児童・生徒の問題に焦点を当て、「教室で過ごしにくい児童・生徒たち～その背景と支援～」を学会テーマといたしました。

脳発達の障害に起因して高率に認められる臨床症候には、脳性麻痺、知的障害、行動異常、およびてんかんの4つをあげることができます。脳性麻痺とは、非進行性の脳病変の結果みられる運動障害を主とするもので、治療にはリハビリテーションが不可欠です。一方、知的障害とは知的発達が遅れ、社会適応や集団生活に支障をきたすもので、行動異常とは落ち着きがない、集中力がないなどの行動の異常を主とするものです。これらの症候は単独で見られることはむしろまれで、多くはいくつかの症状を合併しています。本学会ではこれらの背景を踏まえ、会長講演ではてんかんを有する児童・生徒の学校での生活指導を中心に提示させていただき、また、午後のシンポジウムでは知的障害や行動異常を有する児童・生徒に対する学校現場での対応方法や問題点などを中心に討論していただく予定です。養護教諭の先生や小児科医、精神科医師をシンポジストにむかえ、また、学校現場でご活躍の先生方からも多くの問題提起をいただきながら、有意義な学会となるよう祈念しております。是非、多くの皆様方のご参加をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご後援をいただきました滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、滋賀県医師会、滋賀県歯科医師会、滋賀県薬剤師会、ならびに本学会の運営にご尽力いただきました先生方や滋賀医科大学小児科学教室同門会（童心会）の皆様には厚く御礼申し上げます。

## 第63回近畿学校保健学会プログラム

日 時 平成28年6月25日(土) 9:10~17:10

会 場 滋賀医科大学臨床講義棟(臨床講義室1, 2, 3)

(http://www.shiga-med.ac.jp/footer/campusmap.html でご確認ください。)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
(JR 瀬田駅より大学病院前までバスで約10分)

時刻	用途	場所
9:10~	受付開始	臨床講義棟1階
9:45~12:00	一般演題発表 第1会場【臨床講義室1】 第2会場【臨床講義室2】 第3会場【臨床講義室3】	臨床講義棟1階 臨床講義棟2階
12:00~13:00	昼食	
13:00~13:50	評議員会・総会	臨床講義棟2階
13:50~14:20	会長講演 「てんかんを有する児童・生徒の生活指導」 座長：小西 眞(滋賀県医師会副会長) 演者：高野知行(滋賀医科大学小児科学講座)	【臨床講義室3】
14:20~14:30	休憩	
14:30~17:00	シンポジウム 「教室で過ごしにくい生徒たち~その背景と支援~」 座長：澤井ちひろ(滋賀医科大学小児発達支援学講座) 大平雅子(滋賀大学教育学部) (1)保健室の現状と養護教諭のアセスメント ~養護教諭の職務等に関する調査結果から~ 松崎典子(大津市立栗津中学校) (2)子ども発達相談センターからみた現状とアセスメント 龍田直子(大津市健康保険部保健所 子ども発達相談センター) (3)小児発達外来からみた現状とアセスメント 阪上由子(滋賀医科大学小児発達支援学講座) (4)“生まれつき”なのか“病気”なのか~そしてどう治すのか~ 稲垣貴彦(滋賀県立精神医療センター)	臨床講義棟2階 【臨床講義室3】
17:00~17:10	表彰式・閉会式	
17:30~	懇親会	大学病院6階 レストラン

## プログラム（一般演題）

一般演題（講演 10 分，質疑応答 4 分）9：45～12：00

**第1会場【臨床講義室1】**

&lt;保健室・養護教諭&gt; 9：45～10：45

座長 板持 紘子（滋賀医科大学）

- 1-1 保健室空間のあり方に関する検討～小学生における保健室観と保健室利用状況の関連性～  
○八木利津子（奈良女子大学大学院）
- 1-2 保健室から校内に発信する健康問題～健康観察，来室状況から～  
○地海和美（栗東市立治田東小学校），板持紘子（滋賀医科大学看護学科），  
播磨谷澄子（大津市立雄琴小学校），志村美好（大津市立真野中学校），  
柘植清子（湖南市立水戸小学校），谷井尚子（彦根市立彦根南中学校），  
田中輝美（栗東市立葉山中学校），辻寛子（大津市立仰木中学校），  
松井真美（湖南市立三雲小学校）
- 1-3 男性養護教諭に関する調査～小学生の調査より～  
○大川尚子（関西福祉科学大学），倉恒弘彦（大阪府立泉北高等支援学校）
- 1-4 男性養護教諭に対する管理職の意識調査  
○星雅博（県立新潟工業高校養護教諭），白石龍生（大阪教育大学）

&lt;睡眠と生活習慣&gt; 10：45～11：45

座長 西岡 伸紀（兵庫教育大学）

- 1-5 幼児における睡眠と生理指標及び唾液バイオマーカーとの関連性  
○増田翔太（米原市立河南中学校），大平雅子（滋賀大学教育学部）
- 1-6 健康的生活習慣の自主的形成に関する中学生の意識・態度  
○近田茜，古橋祐一，山本千津子，山本順子，筆野元（兵庫教育大学大学院），  
鬼頭英明（法政大学大学院），西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）
- 1-7 中学生の睡眠問題の実態とその関連要因の検討  
○藤原寛（京都府立医科大学），井上文夫（京都教育大学）
- 1-8 体組成と生活習慣との関連～小学生高学年における横断調査より～  
○中村晴信，小原久未子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科），  
甲田勝康，藤田裕規（近畿大学医学部公衆衛生学），  
間瀬知紀（京都女子大学），  
宮脇千恵美（平安女学院大学短期大学部）

**第2会場【臨床講義室2】****<ライフスキル> 9:45~10:45****座長 中村 晴信 (神戸大学)**

2-1 小学校高学年の意思決定に関する自由記述およびFGI調査

～意思決定の具体的場面，プロセスについて～

○古橋祐一，近田茜，筆野元，山本千津子，山本順子（兵庫教育大学院），  
鬼頭英明（法政大学大学院），西岡伸紀（兵庫教育大学院）

2-2 中学生の定期テスト及び体調管理に関する目標設定スキルの活用

○山本千津子，山本順子，筆野元，吉田かえで，古橋祐一，近田茜（兵庫教育大学大学院），  
鬼頭英明（法政大学大学院），西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）

2-3 中学生の携帯電話によるインターネット利用と学校生活スキルとの関係性について

○藤本功樹，竹端佑介，後和美朝（大阪国際大学人間科学部人間健康科学部）

2-4 小学生用目標設定スキル尺度作成のための基礎的研究

～目標設定に関する記述調査およびFGIの結果～

○筆野元，山本順子，山本千津子，吉田かえで，古橋祐一，近田茜（兵庫教育大学大学院），  
鬼頭英明（法政大学大学院），西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）**<スポーツ> 10:45~11:45****座長 後和 美朝 (大阪国際大学)**

2-5 スポーツ外傷・障害の予防活動による高校生の行動，意識等の変化

○山本順子（兵庫教育大学大学院），柳田博美（兵庫県立加古川医療センター），山本千津子，  
筆野元，吉田かえで，古橋祐一，近田茜，西岡伸紀（兵庫教育大学大学院），  
鬼頭英明（法政大学大学院）

2-6 中学生バスケットボール選手に対するセルフチェック普及への取り組み

○松尾浩希（奈良教育大学大学院），笠次良爾，高木祐介（奈良教育大学保健体育講座）

2-7 中学・高校サッカー選手における傷害予防のための取り組み

○笠次良爾（奈良教育大学保健体育講座），松尾浩希（奈良教育大学大学院），  
高木祐介（奈良教育大学保健体育講座）

2-8 女子学生における過去の運動習慣と獲得筋量との関連～市販体組成計を用いた分析から～

○間瀬知紀（京都女子大学発達教育学部児童学科），  
宮脇千恵美（平安女学院大学短期大学部），  
小原久未子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科），  
甲田勝康（近畿大学医学部公衆衛生学），  
中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

**第3会場【臨床講義室3】****<医療と学校保健> 9:45~10:30****座長 藤原 寛 (京都府立医科大学)**

## 3-1 生まれ月と肥満の頻度との関連

- 井上文夫 (京都教育大学体育学科), 藤原寛 (京都府立医科大学),  
浅井千恵子 (花園大学児童福祉学部)

## 3-2 高校生の薬物に関する実態と一考察

- 十川真由美 (神戸市立六甲アイランド高等学校), 轟佑希 (神戸市立清風幼稚園),  
江寄和子 (園田学園女子大学)

## 3-3 大学生の歯科保健に関する知識と実践力取得効果の検討

- 楠本久美子 (四天王寺大学)

**<育児と教育> 10:30~11:00****座長 森岡 郁晴 (和歌山県立医科大学)**

## 3-4 子どもに対するタッチについての母親の思い

～タッチケア講習に参加した母親の感想から～

- 小島賢子, 柴田順子 (兵庫大学健康科学部看護学科)

## 3-5 看護系大学生へのアクティブラーニング実施による効果

～学校保健論におけるLTD学習の試み～

- 古角好美 (大和大学保健医療学部)

**<精神保健> 11:00~11:45****座長 大川 尚子 (関西福祉科学大学)**

## 3-6 犯罪者を親にもつ子どもへの支援は何か必要か

- 松村歌子 (関西福祉科学大学)

## 3-7 中国広州の日本人学校における生徒のストレス状態

- 川村小千代 (和歌山医大院・保健看護学研究科, 関西福祉科学大学),  
宮井信行 (和歌山医大院・保健看護学研究科), 大川尚子 (関西福祉科学大学),  
内海みよ子 (和歌山医大院・保健看護学研究科), 宮下和久 (和歌山医大・医),  
森岡郁晴 (和歌山医大院・保健看護学研究科)

## 3-8 中国広州の日本人学校における保護者の保健医療の状況

- 森岡郁晴, 宮井信行 (和歌山医大院・保健看護学研究科), 大川尚子 (関西福祉科学大学),  
川村小千代 (和歌山医大院・保健看護学研究科, 関西福祉科学大学),  
内海みよ子 (和歌山医大院・保健看護学研究科), 宮下和久 (和歌山医大・医)

## 参加受付等のご案内

### ◆受付時間・場所

平成28年6月25(土) 9:10～ 滋賀医科大学臨床講義棟 1F

### ◆受付等について

#### ① 学会正会員

- ・参加費 1,000 円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・平成28年度年会費未納の方は、年会費 3,000 円を学会本部事務局にお納めください。
- ・年会費の納入がない場合は、参加費が当日会員と同じく 2,000 円となりますので、ご注意ください。

#### ② 当日会員

参加費 2,000 円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。

#### ③ 学生（参加費：大学院生 1,000 円，学部学生 無料）

- ・大学院生，学部学生は学生証を提示ください。提示のない場合，当日会員扱いになります。
- ・学部学生には講演集は提供されません。希望される方には 500 円で配賦します。

#### ④ 新規入会希望者

- ・受付で入会申込用紙を受け取り，必要事項をご記入の上，年会費 3,000 円を学会本部事務局にお納めください。

#### ⑤ 昼食

- ・お弁当を一つ 1,000 円で準備します。参加申込書にてご予約ください。
- ・会場に隣接する附属病院のカフェ等もご利用いただけます。

#### ⑥ 懇親会（会費 5,000 円）

- ・準備の都合上，平成28年6月11日（土）までに，参加申込書を第63回近畿学校保健学会事務局（Eメール送付先：63ksha@belle.shiga-med.ac.jp）に送付してください。
- ・会場：附属病院6階レストラン
- ・参加は事前申込制ですが，当日も若干名の方は受付いたします。
- ・懇親会に参加される方は，学会場の受付において会費をお支払いください。

※ 名札には氏名・所属をご自身でご記入の上，会場では必ずご着用ください。

※ 詳細は，第63回近畿学校保健学会のウェブサイト

（<http://www.shiga-med.ac.jp/~63ksha/>）をご覧ください。

### ◆一般演題発表者の方へ

- ① 前演者の講演が始まると同時に，各会場前方の次演者席に，ご着席ください。
- ② 発表は，1演題につき，発表時間10分，質疑応答時間4分を予定しています。
- ③ 学会当日は，発表用のプロジェクタ，コンピュータを準備いたします。
- ④ 発表用コンピュータは，Windows®7または8で，ソフトウェアはPowerPoint®2013に対応いたします。発表用ファイルは，平成28年6月11日（土）までに学会事務局までメールでお送りください。ただし，ファイル容量が5MB超の場合は，CD-R等で郵送ください。
- ⑤ PCまたはMacを持参して発表される場合，プロジェクタとの接続ケーブルをご用意ください。プロジェクタはD-SUB15，HDMIに対応します。iPad®等のタブレットには対応しません。

- ⑥ 動画の使用は、原則としてお控えください（必要な場合は事務局で相談に応じますので、あらかじめご連絡ください）。
- ⑦ 資料配布される場合は70部ご用意ください。

#### ◆座長の先生方へ

- ① 前座長の登壇後、前方の次座長席にご着席ください。
- ② 1題あたり14分以内でご進行いただきますようお願いいたします。なお、発表者交替のため、別に1分を想定しています。
- ③ 慣例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いいたします。年次学会事務局まで提出をお願いいたします。締切は平成28年8月1日（月）です。

#### ◆その他

- ・附属病院駐車場（有料）を利用された方は受付にお申し出ください。駐車券を配布します。
- ・学会開催時間内は、携帯電話などの通信機器類はマナーモードにするか電源をお切りください。
- ・会場は敷地内を含め禁煙です。
- ・手荷物預かりのサービスは行いません。

#### ◆学会会場



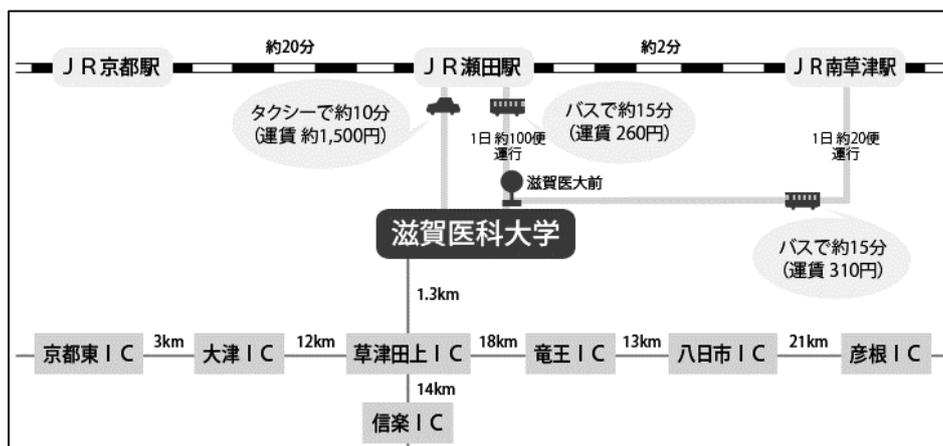
上記地図の⑩が臨床講義棟です

★学会会場への案内図

滋賀医科大学臨床講義棟（第1, 2, 3 講義室）

(<http://www.shiga-med.ac.jp/footer/campusmap.html> でご確認ください。)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町（JR 瀬田駅より大学病院前までバスで約10分）



帝産バス時刻表（土曜日）

	JR 瀬田駅発：滋賀医大（大学病院）行き	大学病院発：JR 瀬田駅行き
07:	18 38	17 47 53
08:	05 13 43 47	13 18 30 41 47 58
09:	02 27 45	12 27 43 57
10:	00 15 30 45	05 17 33 51
11:	00 30 45	03 11 32
12:	00 15 45	00 05 12 31 58
13:	00 43	08 17 32 58
14:	00 15 45	05 12 21
15:	00 45	00 05 17 27 47
16:	15 30 45	17 23 38 53
17:	30	08 30 41 55
18:	00 15	42
19:	00 30	13 45
20:	00 30	17 45
21:	00 30	15 45

## 平成28年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題

日時：平成28年6月25日（土） 13：00～13：50

場所：滋賀医科大学

- 議題： 1. 平成27年度事業報告
2. 平成27年度決算報告及び会計監査報告
3. 平成28年度予算案
4. 名誉会員の承認について
5. 次期学会開催地及び会長
6. その他

### 平成27年度

#### 第3回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時：平成28年1月31日（日）16：00～17：15

場所：大阪教育大学天王寺キャンパス

西館第8講義室

出席者：【幹事長】白石

【常任幹事】大川，笠次，鬼頭，後和

【幹事】（滋賀）板持，高野，谷川

（京都）藤原

（大阪）北口，楠本，平田，吉岡

（兵庫）大平，川畑，中村，西岡

（奈良）辻井

（和歌山）武田，宮下，森岡

（計21名敬称略・順不同）

欠席者：井上，下村，守谷，春木，高橋

（計5名敬称略・順不同）

開会に際し，去る平成27年12月4日に95歳で亡くなられた名誉会員の杉浦守邦先生（京都）に対して黙祷を捧げ，学会通信に追悼文を掲載することが了承された。

#### 議事：

- 第63近畿学校保健学会開催要項について  
学会長の高野幹事から開催要項が提案された。学会開催日は平成28年6月25日，当日のタイムスケジュールは9：10～17：10を予定し，会場は滋賀医科大学で臨床講義棟の臨床講義室1～3を使用することが説明された。また，学会テーマは「教室で過ごしにくい児童・生徒たち～その背景と支援～」とし，演題の申込み等のスケジュールは演題申込み締め切りが4月15日，抄録締め切りが5月13日，パワーポイント提出が6月10日であることが説明され，了承された。
- その他  
特になし

#### 報告：

- 第4回セミナーについて  
鬼頭常任幹事より，参加者からの好評を得た第3回セミナーと同じ内容で平成27年12月12日に開催されたことが報告された。参加者は31名であったが，定員を超えての参加希望者があったため，近畿厚生局麻薬取締部神戸分室の協力を得て，参加できなかった

者に対しては当日の午前中にもセミナーが実施されたことが報告された。

## 2. 学会通信の発刊について

後和常任幹事から143号の概要が説明され、内容は主に第63回近畿学校保健学会開催要項となるが、その他に学会新企画として「データを分析する(2)」の執筆を宮井信行先生に依頼していることが報告され、第3回研修セミナー報告等を含めて16頁にわたることが説明された。

## 3. 選挙管理委員会について

1月31日の11:00から関西福祉科学大学において、第2回選挙管理委員会が開催されたことが報告された。また、2月21日に第3回選挙管理委員会を開催し、開票作業を行うことが報告された。

## 4. その他

特になし

## 平成27年度

### 第3回選挙管理委員会議事録

日時:平成28年2月21日(日)13:00~14:30

場所:関西福祉科学大学

出席者:【委員長】辻井(奈良)

藤原(京都),宮下(和歌山),楠本(大阪),大平(兵庫),谷川(滋賀)

【事務局】大川

【オブザーバー】白石

## 議 題:

### 1. 投票用紙の確認について

発送は213通,返送は133通であり,投票率は62%であった。うち無効投票は3通(投票期間以後の返送)であった。各府県の市詳細は下記のとおりである。

滋賀県19通(76%),京都府:17通(55%),大阪府:34通(59%),兵庫県:27通(51%),奈良県:12通(67%),和歌山県:21通(75%)

### 2. 開票作業について

選挙管理委員が2人1組になって,自分の府県の開票をした後,他の府県も再度チェックし一覧表を作成した。その後,府県別に評議員の確定を行い,上位から幹事を確定した。

### 3. 選挙結果送付について

選挙結果は2月23日に評議員・幹事ともに発送予定であり,2月26日までに辞退者のみ事務局まで連絡を依頼する。辞退者が出た場合の繰り上げ当選の対応については,補欠者名簿より行うこととなった。

## 4. その他

特になし

## 関連学会開催日程

### ◇日本学校保健学会(第63回学術大会)

会長:野津 有司(筑波大学)

日時:平成28年11月18日(金)~20日(日)

会場:筑波大学 大学会館・5C棟 〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

### ◇日本養護教諭教育学会(第24回学術集会)

会長:今野 洋子(北翔大学)

期日:平成28年10月8日(土)~9日(日)

会場:北翔大学〒069-8511 北海道江別市文京台23番地

## トピックス：学校現場におけるてんかん発作時の対応について

学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入について、平成28年2月29日に医師法第17条の解釈に関し文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課から通知がありました。下記のアドレスにてご確認ください。なお、第63回近畿学校保健学会では、学会長の高野知行先生が学会長講演として「てんかんを有する児童・生徒の生活指導」についてご講演されます。タイムリーな企画ですので、ぜひともご参加してください。

### <医師法第17条の解釈について>

学校現場等で児童生徒がてんかんによるひきつけを起こし、生命が危険な状態等である場合に、現場に居合わせた教職員が、坐薬を自ら挿入できない本人に代わって挿入する場合が想定されるが、当該行為は緊急やむを得ない措置として行われるものであり、次の4つの条件を満たす場合には、医師法違反とならない。

- ①当該児童生徒及びその保護者が、事前に医師から、次の点に関して書面で指示を受けていること。
  - ・学校においてやむを得ず坐薬を使用する必要性が認められる児童生徒であること。
  - ・坐薬の使用の際の留意事項
- ②当該児童生徒及びその保護者が、学校に対して坐薬を使用することについて、具体的に依頼（医師から受けた坐薬の挿入の際の留意事項に関する書面を渡して説明しておくことを含む。）していること。
- ③当該児童生徒を担当する教職員が、次の点に留意して坐薬をしようすること。
  - ・当該児童生徒がやむを得ず坐薬を使用することが認められる児童生徒本人であることを改めて確認すること。
  - ・坐薬の挿入の際の留意事項に関する書面の記載事項を遵守すること。
  - ・衛生上の観点から、手袋を装着した上で坐薬を挿入すること。
- ④当該児童生徒の保護者又は教職員は、坐薬を使用した後、当該児童生徒を必ず医療機関での受診をさせること。

※一連の行為の実施に当たっては、てんかんという疾病の特性上、学校現場において児童生徒のプライバシーの保護に十分配慮がなされるよう強くお願いする。

[http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6686/00213261/2803kuni\\_tuuti\\_tenkan\\_hasseizi\\_zayaku\\_sonyu.pdf](http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6686/00213261/2803kuni_tuuti_tenkan_hasseizi_zayaku_sonyu.pdf)

(常任幹事会 大川尚子)

### 編集後記

昨年度は役員改選の年度で、新しい選挙制度のもとで初めて選挙が行われました。役員選挙は2月に実施され、幹事は評議員選挙で獲得票数の上位の方から選出され、任期は2年から3年になりました。新たに評議員、幹事になれる先生方、よろしくお祈りします。

また、本号には6月25日(土)に滋賀医科大学を会場として開催される第63回近畿学校保健学会のプログラムが掲載されています。学会長は小児科学講座の高野知行先生が務められ、学会テーマは「教室で過ごしにくい児童・生徒たち～その背景と支援～」です。午前中には一般演題発表があり、24演題が集まりました。午後からは学会テーマを中心に、現在の学校現場が抱えている問題や課題に焦点をあてた会長講演やシンポジウムが開催され、有意義な学会になるものと思われまます。多くの先生方の参加をお待ちしています。

(常任幹事 後和美朝)